

東南アジア配車サービス最大手 Grab Inc.と資本業務提携し 「Grab Financial Services Asia Inc.」を設立 ～東南アジアでデジタルレンディングを開始～

株式会社クレディセゾン（東証一部：8253、本社：東京都豊島区、代表取締役社長：林野 宏、以下：当社）は、東南アジア配車サービス最大手である Grab Inc.（本社：シンガポール、CEO Anthony Tan、以下：Grab）と資本業務提携のうえ、「Grab Financial Services Asia Inc.（以下：Grab Financial Services Asia）」を設立し、東南アジアにおいてスマートフォンを活用したローン提供を行うデジタルレンディングを開始いたします。

Grabは、東南アジアにおいて急拡大するライドシェアのマーケットリーダーとしてモバイルアプリケーションを活用してドライバーと乗客をマッチングする配車サービスを、8ヶ国・178都市にて展開し、登録ドライバーは240万人、1日当たり乗車数は400万件、同社アプリのダウンロード数は8,100万件に上ります。また、Grabの提供する地域におけるモバイル決済サービスの有力プラットフォーム「GrabPay（以下：GrabPay）」も急成長しています。

Grab Financial Services Asiaでは、当社が30年以上に渡り日本のリテールファイナンス事業で培った与信ノウハウを活かしつつ、Grabの登録ドライバーや配車アプリ利用者のデータ、ならびにGrabPayの利用により蓄積したビッグデータを活用し、精度の高い信用スコアリングを構築することで、Grabユーザーの日々の資金ニーズに対応してまいります。まずは、240万人のGrab登録ドライバーへのローン提供から開始し、一般ユーザーへと対象を拡大させ将来的には、信用スコアリングを活用した新たなビジネス創出やカードレス決済の事業化を目指し、東南アジアにおけるプレゼンスの向上を実現してまいります。

【クレディセゾンとGrabの合弁会社展開イメージ】

＜合弁会社設立により東南アジアでの事業展開を共同推進＞



【Grab Inc.について】 <http://www.grab.com>

Grab Inc.（以下：Grab）は東南アジアにおいてオンデマンド配車サービス、およびモバイル決済サービスを提供するリーディングカンパニー。Grabは東南アジアの6億2,000万人の人々に対し交通の自由を提供するべく、東南アジアにおける交通課題を解決。Grabの主要プロダクトは利便性、安全性、信頼性に重点を置いたドライバーやパッセンジャーへの交通ソリューションの提供に加え、Grabドライバーおよび東南アジアのドライバーに対しモバイル決済ソリューションへのアクセスを可能にし、また地域におけるファイナンス・インクルージョンの取り組みを進める独自のモバイル決済プラットフォームであるGrabPayを提供。現在ではシンガポール、インドネシア、フィリピン、マレーシア、タイ、ベトナム、ミャンマー、カンボジアで事業を展開。

■GrabPay マネジング・ダイレクター兼 Grab Financial Services Asia Inc.取締役

ジェイソン・トンプソン氏コメント

新しいジョイントベンチャー、Grabフィナンシャルサービスアジアは、東南アジアにおいて全ての人々が金融サービスへのアクセスを可能にするフィナンシャル・インクルージョン（金融包摂）推進のために必要とされているインフラストラクチャーを提供します。この地域では、多くの人々が家を買うためのローンや多くの零細企業が事業を成長させるのに必要なローンについて、サービス提供がない状況です。Grabフィナンシャルサービスアジアは、伝統的な信用スコアリングの代替として、大多数を占める銀行口座未保有層に特化した信頼性のあるスコアリングを構築し、地域横断的に経済的な機会を創出します。

【株式会社クレディセゾンについて】 <http://www.saisoncard.co.jp/>

1982年よりクレジットカードの発行を開始し、以降約30年間にわたり、サービス先端企業として、常に徹底した顧客志向を貫きながら、カード業界の常識にとらわれないイノベティブな発想で新たな商品・サービスを生み出し、業界において独自のポジションを確立。「Neo Finance Company in Asia」の経営ビジョンのもと、マーケットにおける競争力をより一層強固にするために、ビジネスモデルの変革に取り組む。